

「裏磐梯紀行(6)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

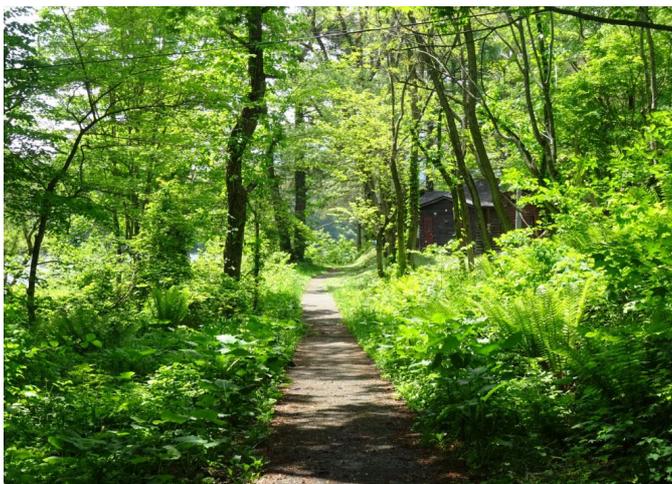
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

裏磐梯にはいくつかの「探勝路」が設置されている。磐梯山の登山には相当な体力と覚悟が必要だが、探勝路は高低差も少なく(というよりほとんど0で)、1時間程度で歩けるので、気軽に自然を楽しめる。



一番有名なのは、いくつもの沼をめぐる「五色沼探勝路」だろう。しかし私はまだ行ったことのない「桧原湖畔探勝路」を歩いてみることにした。名称通り、桧原湖の南東岸につけられた遊歩道で、ゆっくり歩いても1時間半程度でゴールできる。途中に「吊り橋」もあって楽しそうだ。



この探勝路は、細いながらも何と舗装されている。途中にいくつものキャンプ場やバンガローがあり、そこに荷物を運ぶのに、小型のバギー荷物車のようなものが通る為らしい。おかげで、非常に歩きやすい。



まず目に入ってきたのが、この赤いつぼみの花だ。ハコネウツギに似ているが、やや特徴がちがう。



花が満開の個体もあったので、よく観察してみた。ハコネウツギは一つの株(個体)に、白、桃色、赤紫など、いろいろな色の花を同時につける。これは、開花時に白かった花が、徐々に色づいてくるために起きる現象だ。しかし探勝路で見たものは、唯一薄桃色の花しかない。これは、**タニウツギ** *Weigela hortensis* (スイカズラ科) という種類だ。産地の谷筋の斜面に多いので「谷空木」の名がある。



ハコネウツギ *Weigela coraeensis*/小石川植物園